

令和3年度 第1回 東金市地域公共交通会議 議事録

1. 日 時 令和3年5月17日(月) 10時25分～11時50分

2. 開催場所 東金市中央公民館 講堂

3. 出席者 出席23名、欠席5名、事務局5名

出席：平野委員、藤崎委員、仲田委員、小川委員、真行寺委員、三須委員、三橋委員※、
吉井委員、小見川委員、座古委員、白石委員、佐瀬委員、佐竹委員※、宮沢委員※、
中村委員※、渡邊委員※、宮崎委員、望月委員、飯田委員※、藤井委員
神山委員(市民福祉部長)※、安川委員(都市建設部長)※、長尾委員(教育部長)※

欠席：渡邊委員(県企画調整班長)、鈴木委員(経済環境部長)、花澤委員、江畑委員、
田中委員(県山武土木事務所次長)

※：新規委員

事務局：醍醐企画政策部長、中田地域振興課長、矢野地域振興副課長兼公共交通係長、
伊藤主事、石田主事

4. 会議次第

1 開 会 【進行：中田課長】

・会議成立の報告

委員の過半数の出席(28名中23名出席)であり、東金市地域公共交通会議設置要綱
第7条第3項の規定により、会議が成立していることの報告

2 真行寺副会長あいさつ

3 新任委員及び事務局紹介・・・委員名簿

4 議 事 【議長 真行寺副会長】

・議事案件 (1)、(4)、(5)、(6)、(7)石田主事より説明 (2)、(3)伊藤主事より説明

(1) 役員の選任について 資料1

(2) 令和2年度 東金市地域公共交通会議 事業報告・決算について【審議】資料2-1、2-2
《監査報告》

(3) 令和3年度 東金市地域公共交通会議 事業計画(案)・予算(案)について【審議】資料3

(3) デマンド型乗合タクシーの利用実績について【報告】資料4

(4) 市内循環バス(福岡路線・豊成路線)利用実績について【報告】資料5-1、5-2、5-3

(5) 令和4年度(R3.10-R4.9)地域内フィーダー系統確保維持事業について【審議】

資料6-1、6-2、6-3

(7) 第3次東金市総合交通計画の策定業務について【審議】資料7-1、7-2

5. その他

6. 閉 会

【概要及び今後の課題】

■ 議事

- (1) 役員(会長)の選任について (資料1)
安川尚紀都市建設部長
- (2) 令和2年度 東金市地域公共交通会議 事業報告・決算について (資料2-1、-2)
承認
- (3) 令和3年度 東金市地域公共交通会議 事業計画(案)・予算(案)について (資料3)
承認
- (4) デマンド型乗合タクシーの利用実績(令和2年度)について (資料4)
- (5) 市内循環バス(福岡路線・豊成路線)利用実績(令和2年度)について (資料5-1、-2、-3)
- (6) 令和4年度(R3.10-R4.9)地域内フィーダー系統確保維持事業について
(資料6-1、-2、-3) 承認
- (7) 第3次東金市総合交通計画の策定業務について (資料7-1、-2)
業者選定をプロポーザル方式とする 承認
計画策定調査支援業務委託事業者評価委員会 5名 承認

○ 役員(会長)の選任について【審議】

(事務局)

【資料1にて説明】

安川尚紀都市建設部長を会長とすることについて(承認)

○ 令和2年度 東金市地域公共交通会議 事業報告・収支決算について【審議】

(事務局)

【資料2-1にて説明の後、座古監査委員より資料2-2にて監査報告】(承認)

○ 令和3年度 東金市地域公共交通会議 事業計画(案)・予算(案)について【審議】

(事務局)

【資料3にて説明】(承認)

(委員)

第3次東金市総合交通計画策定に係る利用実態調査とは具体的にどのようなものか。

(事務局)

各地区に伺いそれぞれの現状把握をするとともに、市民アンケート、鉄道・バスなどの利用者に利用実態を伺うことを想定している。

○ デマンド型乗合タクシーの利用実績(R2年度)について【報告】

(事務局)

【資料4にて説明】

(委員)

これまでも問題となっている当日キャンセルの件数などのデータはないのか。

(事務局)

データ取りまとめ中のため、次回の公共交通会議にてご報告する。

(委員)

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を控えているが、予約が殺到した際、車両数など、現在の体制で対応できるのか。

(事務局)

デマンドタクシーとワクチン接種の移動手段とは別に考えている。

東金アリーナやふれあいセンター、かかりつけ医での接種は公共交通をご利用いただきたいと考える。

(委員)

ワクチン接種に伴う移動手段としては、「移動困難者ワクチン接種移送事業」として3月議会にて承認いただき、ケアタクシーや一般タクシーなどで対応する。

(委員)

具体的な利用方法はいかに。

(事務局)

市においてクーポン券を配布予定であり、これについてもタクシーを利用いただける。

(委員)

買い物以外にタクシーにも利用できるのか。

(事務局)

高齢者支援課、社会福祉課に確認する。

(委員)

市内循環バスのみならずデマンドタクシーの行政負担率を提示する必要がある。

九十九里鐵道などの民業圧迫につながる。

財政負担を常に念頭に置く必要がある。

高齢者福祉として特化するという理念があれば良いが、1回400円の利用は適正運賃なのか検討すべき。

公共交通事業者と市の役割を明確にすべき。

1人あたりの移動距離を把握し、タクシーの正規運賃を出してみるべき。

(事務局)

委員からご指摘いただいたデータ分析し、総合交通計画の策定につなげていきたいと思う。

(委員)

東金市におけるキャンセル数は、全国的に見ても多いと思われる。

予約者のキャンセルは、利用しなかった方の利用も妨げていることを認識してもらう必要がある。第3次東金市総合交通計画の策定時には、これらのことも含め、デマンドタクシーの検討をすべきである。

(事務局)

藤井委員のご指摘を踏まえ、交通計画を策定する。

(委員)

ワクチン接種の移動手段に一般タクシーが利用されるようだが、対応できるのか。

デマンドタクシーをワクチン接種用に地区別に配置できないか。

(事務局)

ワクチン接種前にタクシー事業者と協議を進めたいと考える。

福岡・豊成地区については、市内循環バスも利用いただきたい。

各担当部署に対し、ワクチン接種の移動について地区からご心配の声があった旨を伝える。

(委員)

クーポン券については、利用方法が1,000円につき400円しか利用できないなど扱いづらいところがある。

介護タクシーについては事前予約にて対応できるが、一般タクシーの利用については、すべてのニーズに対応できるかどうか分からない。

(事務局)

ケアタクシー担当である高齢者支援課、福祉タクシー担当である社会福祉課、クーポン券担当である商工観光課に再度、確認の上、タクシー事業者と再度、調整・協議する。

(事務局)

デマンドタクシーの行政負担率は57%、補助金を除いた場合の割合は81%となっている。

○ 市内循環バス(福岡路線・豊成路線)利用実績(R2年度)について【報告】

(事務局)

【資料5-1、-2、-3にて説明】

○ 令和4年度(R3年10月-R4年9月)地域内フィーダー系統確保維持事業について【審議】

(事務局)

【資料6-1、-2、-3にて説明】(承認)

(委員)

資料6-1の「事業目標」の中で1日あたりの平均乗車人数を45人としているが、予約キャンセルの是正などで達成できるのか。予約キャンセルを頻繁にする利用者数、キャンセル数はどの程度いるのか。

(事務局)

令和元年度の実績としては、1日あたりの平均乗車人数が50人を超えている。コロナ禍ではあるが、予約キャンセルの是正などで達成は可能であると考えている。

予約キャンセル数については、令和元年度でのべ955人、令和2年度は集計中である。

(委員)

資料6-2の「事業の効果」の中で東千葉メディカルセンターへの交通アクセスの確保と記載されているが、特記している理由はいかに。

(事務局)

デマンドタクシーを運行する際の大きな理由となっていたため、このような記載がされている。

(委員)

資料4-2を見ると豊成地区と市内の病院を往来する人はいないということによろしいか。

(事務局)

病院・診療所での乗降数を記載しているため、豊成地区の方が市内の病院を往来していないわけではない。

(委員)

豊成地区では山武市の「さんむ医療センター」への運行要望が多いが、市外運行についてはいかに。

(事務局)

行政間の調整ができていないため、市外運行が実現できない。

交通計画を策定するにあたり、実現に向け、努力を続ける。

○ 第3次東金市総合交通計画の策定業務について【審議】

(事務局)

【資料 7-1、-2 にて説明】

① 業者選定方式 プロポーザル方式 (承認)

② 第3次東金市総合交通計画策定調査支援業務委託事業者評価委員会における委員を会長含め5名とする(承認)

(委員)

一般競争入札方式ではなく、プロポーザル方式を採用したい旨については問題ないと思われるが、評価委員を4名とする根拠はいかに。

(事務局)

プロポーザル方式にて総合交通計画を策定している自治体を参考に委員数を定めた。

(事務局)

委員名簿をご覧いただくと、地区代表の方の人数、学識経験者の方の人数を見ると5名が妥当であろうと考える。

(会長)

評価委員の事務局案を提示願いたい。

(事務局)

1号委員の中から社会福祉の観点、高齢者の足の確保の観点から神山市民福祉部長、地区・市民の代表である4号委員の中から2名、公平地区代表の白石委員、東金市議会総務常任委員会 佐竹委員長、8号委員から専門的な学識を有する日本大学理工学部交通システム工学科 藤井教授にお願いしたいと考える。

【その他】

(事務局)

第3次東金市総合交通計画策定支援業務委託事業者評価委員会の委員の皆様には、仕様書や今後のスケジュールなどについて連絡する予定。